

経営比較分析表（令和6年度決算）

沖縄県 粟国村

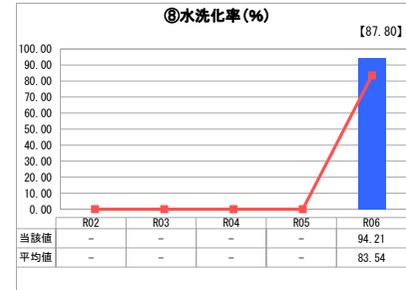
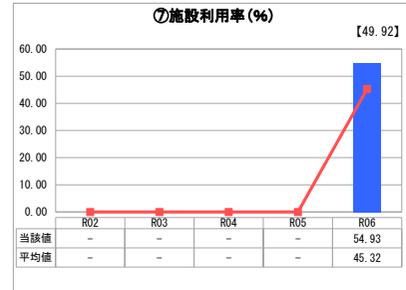
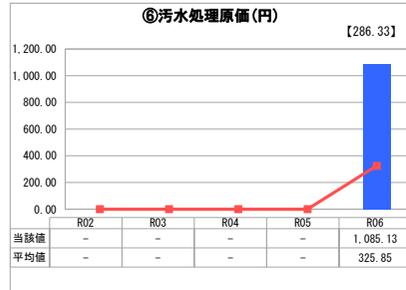
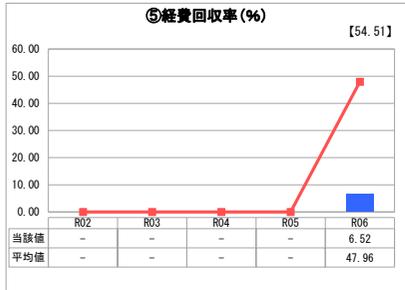
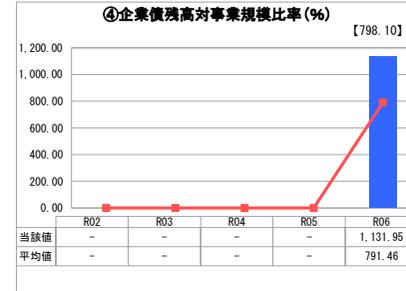
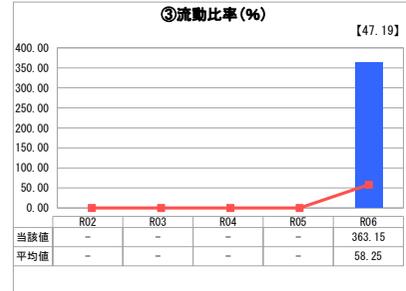
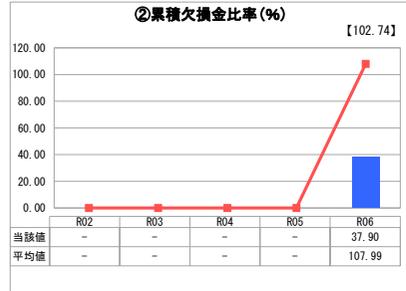
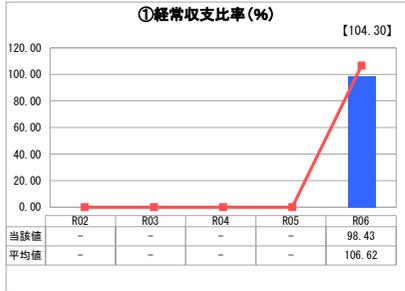
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	93.88	100.00	100.00	1,122

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
676	7.65	88.37
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
673	0.61	1,103.28

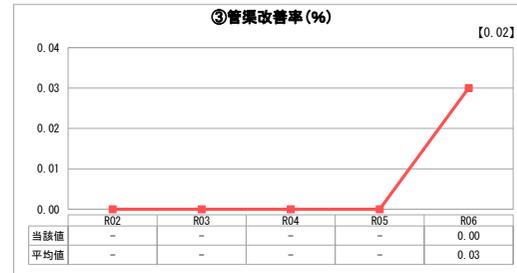
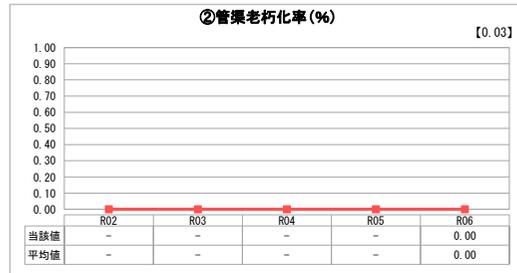
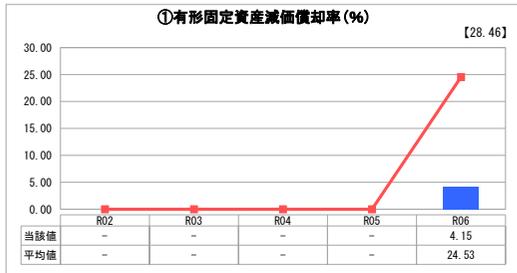
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地方公営企業法適用初年度の決算となる。
 ①経常収支比率は98.437%と健全経営の水準とされる100%を下回っており、開始借対照表において未処理欠損金を有していたことから、②累積欠損金比率は37.90%と累積赤字の状態にある。
 また、⑤経費回収率は6.52%と類似団体平均値を大きく下回り、一般会計からの繰入金によって経営を維持している厳しい経営状況にある。
 これは、有収水量に対して費用が大きく、⑥汚水処理原価は1,085.13円/mで類似団体平均値を大きく上回っていることが要因として挙げられる。
 なお、③流動比率が類似団体平均値を大きく上回っていることから、短期的な資金繰りについては問題ないものと考えられる。
 ④企業債残高対給水収益比率は1,131.95%で類似団体平均値を大きく上回っており、長期的な安全性に留意する必要がある。
 経営の効率性に関して、⑦施設利用率が類似団体平均値を上回っており、効率よく施設を利用してきているものと考えられる。
 また、⑧水洗化率は94.21%で類似団体平均値を上回っており、人口減少が予測されるなか、使用料収入を維持するため、今後も水洗化率向上に取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は4.15%で類似団体平均を大きく下回っているが、これは地方公営企業法適用初年度の決算ということが大きく影響しているものと考えられる。
 ②管渠経年化率は0.00%となっており、法定耐用年数を経過した管渠は現時点ではないが、今後は、事業開始当初に建設した管渠が法定耐用年数を順次迎えることから、計画的に管渠の更新を行っていく必要がある。
 なお、③管渠改善率は0.00%となっている。

全体総括

現状として、一般会計からの繰入によって経営を維持している厳しい状況にあると考えられる。
 今後は一般会計の財政もより厳しくなることが見込まれることから、離島村特有の課題を踏まえつつ、村民にとってなくてはならない下水道事業サービスを将来に渡って安定的に提供し続けるため、使用料改定を含めて抜本的な対策を検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。